

府中町第4次総合計画
(後期期間)

施策評価

(令和3年度～令和5年度)

後期実施計画（令和3年度～令和5年度） 施策評価シート

1. 基本情報

基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	担当部	福祉保健部
基本施策	1	地域で共に支え合う福祉の充実		
単位施策名称	1	生活支援の充実		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●生活保護世帯に対して、各種の福祉施策の提供により、被保護者の自立を図ります。 ●生活困窮者に対し、就労支援等を早期に行うことにより、福祉の充実を図ります。 ●誰もが安心して暮らし続けることができるよう、生活支援の充実に努めます。 			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	就労による自立者の数	人	目標値		14	15	15	15	16
			実績値	14	17	18	16		
			達成状況		達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 相談者の自立支援に向けて、関係機関が相談者に寄り添った支援を継続し、目標を達成しました。

R4 相談者の自立支援に向けて、令和4年9月から「府中町らしごと自立応援センター」を立ち上げ、関係機関が相談者に寄り添った支援を継続し、目標を達成しました。

R5 相談者の自立支援に向けて、令和4年9月から「府中町らしごと自立応援センター」を設置し、関係機関と連携を取りながら、相談者に寄り添った支援を継続し、目標を達成しました。

・評価及び対応方針

R3 生活困窮者等の複雑化・複合化した相談に適切に応じ、寄り添った支援を継続して行うため、自立支援相談・就労準備支援・家計改善支援を一体的に実施するための取組みを行います。

R4 生活困窮者等の複雑化・複合化した相談に適切に応じ、寄り添った支援を継続して行うため、自立支援相談・就労準備支援・家計改善支援を一体的に実施する「府中町らしごと自立応援センター」の運営を令和4年9月から開始しました。今後は、同センターを拠点にアウトリーチを強化し、支援の充実を図っていきます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	生活困窮者自立支援事業	2,293	12,702	20,168	35,163
2	ふれあいごみ収集事業	0	0	1,960	1,960
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	2,293	12,702	22,128	37,123

1. 基本情報

基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	担当部	福祉保健部
基本施策	1	地域で共に支え合う福祉の充実		
単位施策名称	2	障がい者福祉の充実		
施策の方向性	●障がい者の自立支援や社会参画の促進、障がい者と暮らす家族に対する支援を継続的に 行います。 ●住民の障がい及び障がい者に対する理解や認識を深め、人権尊重の意識を醸成するた め、障がい者の理解促進につながる分かりやすい啓発・広報活動を推進します。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	就労支援事業の利用者数	人	目標値		145	148	151	154	157
			実績値	145	170	161	182		
			達成状況		達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	
R4	就労支援事業所や窓口における相談事業の充実により、障がい者の就労支援を利用した実績値が目標を上回る結果となりました。
R5	

・評価及び対応方針

R3	継続して障がい者の就労支援事業を幅広く充実させるとともに、窓口における丁寧な相談事業の充実と、自立支援相談・就労準備支援・家計改善支援の一体的な取組みにより、支援を継続していきます。
R4	継続して障がい者の就労支援事業については、「就労移行支援事業所との連携」及び「窓口における丁寧な相談事業の充実」等により充実を図っていきます。併せて、自立支援相談・就労準備支援・家計改善支援の一体的な取組みにより、支援を継続していきます。
R5	

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	地域生活支援強化事業	14,592	14,477	14,629	43,698
2	精神障がい者通院医療費助成事業	2,602	4,811	5,924	13,337
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	17,194	19,288	20,553	57,035

1. 基本情報

基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	担当部	福祉保健部
基本施策	2	地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策名称	1	ライフステージに応じた健康づくりの支援		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●笑顔があふれ、健康で生きがいをもって過ごせるよう、高齢者の社会参加を推進します。 ●乳児期から高齢期までの生涯にわたり、口腔疾病の予防を図るとともに、生活習慣病の予防に取り組みます。 ●「第2次府中町健康増進計画・食育推進計画」に沿って、すべての世代において、心と体の健康づくりの充実を図るため、住民、関係団体・機関と連携を図りながら、より良く生きるライフスタイルを推進します。 ●妊娠・出産・育児を通じた乳幼児の発育・発達の早期支援や相談体制の充実を図ります。 ●国民健康保険制度の周知及び医療費の適正化に向けた啓発を推進します。 ●住民・関係団体・行政等が連携・協働して、自殺対策を推進します。 			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	健康だと感じる人の割合	%	目標値		78.2	78.4	78.6	78.8	79.0
			実績値	53.3	63.8	78.0	78.0		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 目標数値は、健康マイレージのポイントカードのアンケートを集計していますが、アンケートがわかりにくいこともあり、毎年度目標は未達成となっています。アンケート用紙や方法の見直しと健康事業の普及に努めます。

R4 健康マイレージのアプリによるアンケート集計に変更したため、アンケートがわかりやすくなり、実績値は伸びましたが、目標は未達成となりました。アプリの普及に努め、健康事業の継続化を進めます。

R5 健康マイレージのアプリによるアンケート集計に変更したため、アンケートがわかりやすくなり、実績値は低下していませんが、目標は未達成となりました。アプリの普及に努め、健康事業の継続化を進めます。

・評価及び対応方針

R3 健康マイレージのアプリ化やポイント付与の見直しなど、健康事業の継続化を図り、目標達成に努めます。

R4 健康マイレージをアプリ化し、ポイント付与も見直しました。引き続き、健康事業の継続化を図り、目標達成に努めます。

R5

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	健康づくり啓発事業	2,165	9,031	3,875	15,071
2	任意予防接種費用助成事業	3,841	4,325	4,167	12,333
3	骨髄ドナー助成事業	0	0	0	0
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	6,006	13,356	8,042	27,404

1. 基本情報

基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	担当部	福祉保健部
基本施策	3	多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策名称	1	子育て世代への重点支援		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●ネウボラふちゅうを拠点とし、妊娠・出産・育児の切れ目なく幅広い支援を行います。 ●配慮を必要とする子育て家庭に対し相談等の支援を行うほか、様々なリスクを抱える子どもたちに、AIを活用した最適な予防的支援を行います。 ●経済的負担が大きい子育て世代などに対して、各種支援・給付制度により、負担軽減を図ります。 ●児童の居場所づくり等、児童健全育成対策の充実を図り、子どもの生きる力を育む環境づくりを行います。 			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	子育てしやすさ	%	目標値		97.0	97.0	97.0	97.0	97.0
			実績値	97.0	98.0	97.2	97.4		
			達成状況		達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	
R4	個々の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、未達成の事業も多くありましたが、人数や回数を減らしての実施やオンラインを活用した新しい形での実施など、工夫を凝らしながら、支援を止めないよう事業を継続した中で、全体として満足度が上がり、目標を達成したものと考えます。
R5	

・評価及び対応方針

R3	コロナ禍でも、支援を止めないよう工夫を凝らしながら、継続して事業を実施していきます。
R4	コロナ前の事業形態に少しずつ回復する中で、さらに充実した支援ができるように工夫を凝らしながら、継続して事業を実施していきます。
R5	

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	子育て応援事業	9,063	8,122	6,791	23,976
2	不妊治療費助成事業	14,269	7,220	2,276	23,765
3	児童センター事業	42,653	44,758	45,091	132,502
4	放課後児童クラブ(留守家庭児童会)運営事業	83,586	85,312	102,916	271,814
5	ネウボラセンター事業	12,265	18,489	19,903	50,657
6	子ども医療費助成事業	133,446	143,236	163,189	439,871
7	子どもの予防的支援構築事業	23,767	4,884	4,452	33,103
8	不育症治療費助成事業	0	0	352	352
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
合計		319,049	312,021	344,970	976,040

1. 基本情報

基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	担当部	福祉保健部
基本施策	3	多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策名称	2	子育て環境の確保		
施策の方向性	●安心して子育てができるよう、親子で過ごせ、情報交換できる交流の場を確保するなど、子育て家庭を支援する環境づくりを行います。 ●子育て支援メニューを充実させ、仕事と子育ての両立等を支援する環境づくりに取り組めます。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	待機児童数	人	目標値		0	0	0	0	0
			実績値	4	0	0	0		
			達成状況		達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 保育所の待機児童数については、国基準の待機児童数は0人で、目標は達成できました。しかし、潜在的な待機児童は1年を通して存在しており、その対策にも取り組んでいく必要があります。

R4 保育所の待機児童数については、国基準の待機児童数は0人で、目標は達成できました。しかし、潜在的な待機児童は1年を通して存在しており、その対策として新しい保育所の新設を進める準備に取り組んでいます。

R5 保育所の待機児童数については、国基準の待機児童数は0人で、目標は達成できました。しかし、潜在的な待機児童は1年を通して存在しており、受け入れ先の確保に取り組んでいます。

・評価及び対応方針

R3 既存の保育所等では施設的に限界があるため、新しい保育所等の建設・運営主体となる法人を公募することとし、仕事と育児の両立を図る環境づくりを継続していきます。

R4 令和4年度に、新しい保育所等の建設・運営主体となる法人を公募し、令和5年度建設、令和6年度開園の予定で事業を進めており、待機児童解消を図るとともに、仕事と育児の両立を図る環境づくりの準備を進めています。

R5 令和4年度に公募した新規保育所においては、令和5年度建築完了し令和6年度から開園予定です。仕事と育児の両立を図る環境づくりが促進できました。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	地域子育て支援拠点事業	16,796	16,796	17,278	50,870
2	病児・病後児保育事業	16,876	17,677	17,907	52,460
3	プラチナ保育支援事業	2,565	2,520	1,695	6,780
4	保育所等創設助成事業	0	0	227,987	227,987
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	36,237	36,993	264,867	338,097

1. 基本情報

基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	担当部	福祉保健部
基本施策	4	高齢者が生きがいを持って暮らせるまちづくり		
単位施策名称	1	高齢者福祉の充実		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者が様々な分野で生きがいを感じられるよう、高齢者の社会参加や元気づくりにつながる取り組みを支援します。 ●保健・医療・福祉が連携して高齢者を支えるため、高齢者福祉サービスの充実を図ります。 ●住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民、民間団体、行政機関などが一体となった支援の輪を広げます。 ●高齢者ができるだけ介護を必要としない生活を送り、いつまでも元気に暮らせるよう、介護予防事業の充実を図ります。 			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	元気な高齢者の割合	%	目標値		78.8	79.1	79.4	79.7	80.0
			実績値	78.0	78.3	79.4	80.5		
			達成状況		未達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 新型コロナウイルス感染症の影響による活動制限もあり、年間を通して自由に活動できなかったこともあり、目標には届かず未達成となりました。

R4 新型コロナウイルス感染症の影響による活動制限もありましたが、年間を通して少しずつ自由に活動できるようになり、目標は達成となりました。

R5 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで個人及び各団体等の活動が活発となり、目標は達成となりました。

・評価及び対応方針

R3 高齢者いきいき活動ポイント事業を活用し、元気な高齢者を増やしていくためにも、現在24%である事業参加率を上げていく必要があります。今後は、広報啓発による新規参加者の開拓と、参加者の活動継続が図れるような仕組みづくりを考えていきます。

R4 高齢者いきいき活動ポイント事業を活用し、元気な高齢者を増やしていくためにも、事業参加率を上げていく必要があります。今後は、広報啓発による新規参加者の開拓と、参加者の活動継続が図れるような仕組みづくりを考えていきます。

R5 高齢者いきいき活動ポイント事業を活用し、元気な高齢者を増やしていくためにも、事業参加率を上げていく必要があります。今後は、広報啓発による新規参加者の開拓と、参加を促進する仕組みづくりを考えていきます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	高齢者いきいき活動ポイント事業	35,882	34,325	38,456	108,663
2	介護施設整備助成事業	0	0	153	153
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	35,882	34,325	38,609	108,816

1. 基本情報

基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり	担当部	教育委員会
基本施策	1 「志」の教育 信頼される学校教育の確立		
単位施策名称	1 志を持ち未来へ挑戦する児童生徒の育成		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●社会の中で自己実現するために、自分を大切にし、夢や志を持って挑戦し、学び続ける力を持つ児童生徒を育成します。 ●「志」の実現に必要な資質・能力を育成するため、主体的・対話的で深い学びを推進し、確かな学力を育成します。また、学校図書館の充実による、児童生徒の自主的・主体的な学習を推進します。 ●「あいさつ」「感謝」をベースに思いやりの心や感動する心等を育成するとともに、自らの身体を知り、課題の解決に取り組もうとする意欲・実践力を養い、豊かな心とたくましい身体を育成します。 ●国際化に対応した教育を推進し、外国語によるコミュニケーション能力の向上・定着を図るとともに、広い視野を持ち他者と協働する能力を持ったグローバルな社会に挑戦する児童生徒を育成します。 ●情報化に対応した教育を推進し、ICT（情報通信技術）の効果的な活用によって、授業の質の向上を図り、学びの多様化により、主体的・協働的に学ぶ児童生徒を育成します。 		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	全国学力・学習状況調査の教科に関する調査の結果（小学校）※県平均を上回るポイント数	ポイント	目標値		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
			実績値	5.0	5.5	4.0	3.5		
			達成状況		達成	未達成	未達成		
2	全国学力・学習状況調査の教科に関する調査の結果（中学校）※県平均を上回るポイント数	ポイント	目標値		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
			実績値	3.3	2.0	1.5	3.0		
			達成状況		未達成	未達成	達成		
3	「将来の夢や目標はかなうと思う」と答える児童生徒の割合（小学校）	%	目標値		83.0	83.5	84.0	84.5	85.0
			実績値	82.2	80.5	82	83.3		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
4	「将来の夢や目標はかなうと思う」と答える児童生徒の割合（中学校）	%	目標値		72.0	72.0	72.0	72.0	72.0
			実績値	69.2	67.3	72.1	69.4		
			達成状況		未達成	達成	未達成		
5	全国学力・学習状況調査の正答率30%未満の児童生徒の割合（小学校）	%	目標値		4.0以下	3.0以下	2.0以下	2.0以下	2.0以下
			実績値	5.4	4.1	7.0	6.3		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
6	全国学力・学習状況調査の正答率30%未満の児童生徒の割合（中学校）	%	目標値		7.0以下	6.0以下	5.0以下	4.0以下	4.0以下
			実績値	8.0	7.3	19.8	24.2		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析	<p>（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）</p> <p>R3 全国学力・学習状況調査の教科に関する調査（小学生）の目標は達成できたものの、それ以外の目標は達成できませんでした。コロナ禍のため学校行事は中止や縮小となりましたが、令和3年度から本格的にICT機器等の利用を開始し、教職員のスキルアップと授業改善を行いました。</p> <p>R4 NO.4以外の目標は達成できませんでした。新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、授業における話し合いや表現の場においてICT機器を活用した研究授業を実施するとともに、教職員のスキルアップと授業改善などを行い、学力向上へ向けた取組みを行いました。更なる工夫が必要と考えます。</p> <p>R5 6項目のうち1項目しか達成できていないうえ、昨年度対比で良化した数値もあれば悪化した数値もあり、不安定な状況となっています。しかし、教育に係る指標は毎年度対象者が異なることから、建設事業等のように一旦進捗した数値が後退しないという特性を持ち合わせておらず、未達成要因を特定することは難しいと思われます。</p>
-----	---

・評価及び対応方針

R3

今後も、夢や志をもって主体的に挑戦する児童生徒を育成するため、継続的に教職員のICT機器等の活用スキルアップと授業改善に努めていきます。

R4

R5

本単位施策は「志を持ち未来へ挑戦する児童生徒の育成」ですが、未達成項目が多いことから、当該施策が実現に至っていないとは考えていません。施策の方向性を更に推し進めるため、各事務事業を継続します。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	小中連携教育充実事業	324	302	286	912
2	体験活動推進事業	475	511	576	1,562
3	志を育てる教育事業	324	481	558	1,363
4	グローバル教育事業	14,430	14,454	14,208	43,092
5	学校図書館教育充実事業	12,922	12,938	13,368	39,228
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
合計		28,475	28,686	28,996	86,157

1. 基本情報

基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり	担当部	教育委員会
基本施策	1 「志」の教育 信頼される学校教育の確立		
単位施策名称	2 学校・家庭・地域が協働した児童生徒の教育の推進		
施策の方向性	●開かれた学校・信頼される学校を目指して、学校・家庭・地域の協働により「コミュニティ・スクール」の活性化を図り、学校も地域も子どもも元気になる「地域とともにある学校」を目指します。 ●学校現場の業務改善及び教職員の資質向上を推進するとともに、教育委員会と学校が連携・協力・情報共有を緊密に行う体制を確立し、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導体制の整備に取り組みます。また、外部人材との連携を推進するとともに、教諭以外の多様な職員が専門性を発揮して、子ども達を指導・支援する「チーム学校」に取り組みます。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	「子どもと向き合う時間が確保されている」と感じる教員の割合（小学校）	%	目標値		89.2	89.4	89.6	89.8	90.0
			実績値	85.8	90.4	87.2	84.9		
			達成状況		達成	未達成	未達成		
2	「子どもと向き合う時間が確保されている」と感じる教員の割合（中学校）	%	目標値		89.2	89.4	89.6	89.8	90.0
			実績値	83.3	90.3	75.0	61.8		
			達成状況		達成	未達成	未達成		
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 小学校・中学校とも目標を達成しました。
本格的に活用を始めた校務支援システム等により教職員の負担軽減を行うとともに、各学校内で熟議を行い業務改善を図りました。

R4 小学校・中学校とも目標を達成できませんでした。
令和3年度に比べ学校活動が少しずつ戻る状況の中、町内小中学校教頭（業務改善推進担当者）会で熟議を行い業務改善に努めるとともに、校務支援システムの活用やスクールカウンセラー等を配置し教職員の負担軽減に努めました。

R5 小学校・中学校ともに目標値未達成となりました。
教員の体感に係る指標であるため、客観的妥当性という色合いは濃くありませんが、小学校・中学校ともにR3年度以降低下し続けている事実は、留意すべき事態と考えます。

・評価及び対応方針

R3
今後も、継続的に業務改善を行い、子どもと向き合う時間の確保に努めます。

R4
目標値は未達成ですが、事務事業は2事業ともに目標値を達成しています。
R5 事務事業において、地域が学校に関わる取り組みを推進していることから、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校支援体制は構築できているものと考えます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	コミュニティ・スクール運営事業	286	701	812	1,799
2	地域学校協働活動推進事業	601	687	593	1,881
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	887	1,388	1,405	3,680

後期実施計画（令和3年度～令和5年度） 施策評価シート

1. 基本情報

基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり	担当部	教育委員会
基本施策	1 「志」の教育 信頼される学校教育の確立		
単位施策名称	3 児童生徒一人一人の自立を目指した就学支援の充実		
施策の方向性	●多様なニーズに対応した教育機会を提供し、児童生徒一人一人の自立を目指した就学支援の充実を図ります。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	「授業がよく分かる」と答える児童生徒の割合（小学校）	%	目標値		86.2	86.4	86.6	86.8	87.0
			実績値	85.5	83.2	85.3	82.6		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2	「授業がよく分かる」と答える児童生徒の割合（中学校）	%	目標値		76.2	76.4	76.6	76.8	77.0
			実績値	72.1	80.2	73.5	75.7		
			達成状況		達成	未達成	未達成		
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 小学校の目標は未達成でしたが、中学校の目標は達成しました。特別支援教育アドバイザーの配置や中学校区でスクールカウンセラー等の配置を行うとともに、小中連携を図りました。

R4 小学校・中学校ともに目標は達成できませんでした。特別支援教育アドバイザーの配置や中学校区でスクールカウンセラー等の配置を行うとともに、小中連携を図りました。

R5 教員の働き方改革を進めてはいますが、小学校・中学校ともに目標値未達成となりました。昨年度対比、小学校は2.7ポイント低下しましたが、中学校は2.2ポイント上昇し、目標値達成まであと0.9ポイントでした。

・評価及び対応方針

R3 今後も、児童生徒一人一人に応じた教育支援の充実を図ります。

R4

R5 学校運営改善に係る事務事業の成果が、児童生徒の授業の理解力・納得力へ結び付いていないことを示していると思われませんが、向かうべき方向が異なっているとは考え難く、事務事業の継続が必要であると考えます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	学校運営改善推進事業	23,072	22,001	23,824	68,897
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	23,072	22,001	23,824	68,897

1. 基本情報

基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり	担当部	教育委員会
基本施策	2 学び合い生きがいを育む社会教育の充実		
単位施策名称	1 生涯各期に応じた学習機会の提供		
施策の方向性	●生涯各期に応じた学習機会を提供するとともに、学習活動で得た成果をボランティア活動や地域の指導者として活かす仕組みづくりを目指します。 ●家庭教育を支援する学習プログラム講座を開催するスタッフの養成、核となるリーダーの育成を行うとともに、公民館を中心として学習・交流機会を提供します。 ●情報拠点としての図書館活動を推進し、幼児期からの読書活動の定着による子育て支援を行うとともに、ボランティアの育成や交流を通じてボランティア活動の活性化を図ります。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	生涯学習活動数	件	目標値		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
			実績値	1,183	820	1,205	1,121		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	目標は未達成でした。 昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、臨時休館等により開館日数が減少しましたが、開館時には感染対策を十分に行い、運営しました。
R4	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け各種事業を中止しましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、活動者の理解と協力を得て事業を実施したことにより、活動数は増加しましたものの、目標値を下回りました。
R5	コロナ禍により学習の体制や環境が変化したこともあり、生涯学習活動数は上昇傾向とはならず、3年連続目標値未達成となりました。

・評価及び対応方針

R3	今後も、引き続き来館者が安心かつ快適に利用できるような環境整備に努めます。
R4	今後も、引き続き来館者が安心かつ快適に利用できるような環境整備に努めるとともに、利用者ニーズに応じた講座を実施していきます。
R5	目標値は未達成となりましたが、公民館や図書館において、生涯各期に応じた学習機会は十分に提供できているものと考えており、継続して目標値を目指すことで、更なる社会教育の充実を図ります。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	公民館活動事業	1,658	2,529	1,802	5,989
2	図書館活動事業	14,332	13,170	12,936	40,438
3	ふちゅう大好きキッズ育成プロジェクト事業	0	130	105	235
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
合計		15,990	15,829	14,843	46,662

後期実施計画（令和3年度～令和5年度） 施策評価シート

1. 基本情報

基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり	担当部	教育委員会
基本施策	2 学び合い生きがいを育む社会教育の充実		
単位施策名称	2 芸術・文化の普及・振興		
施策の方向性	●様々な文化に触れるためのイベント等を開催するとともに、文化団体相互の連携を推進し、発表機会の提供や活動の支援を通じて、芸術・文化活動を推進します。 ●文化財の保存と活用を推進するとともに、府中町の歴史・文化・自然について学習する機会の提供と支援を行います。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	芸術文化イベント参加者及び活動者数	人	目標値		478	486	494	502	510
			実績値	428	349	365	434		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	目標は未達成でした。 活動者数（あきふちゅう文化協会会員数）が減少したほか、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント参加者数が制限されました。
R4	新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、各種活動を実施しました。 あきふちゅう文化協会活動者（280人）及びふるさと再発見講座への参加者（85人）は令和3年度に比べ増加しましたが、目標値を下回りました。
R5	あきふちゅう文化協会会員数の伸び悩みが、目標値未達成の主たる要因となっています。

・評価及び対応方針

R3	活動者数増員のため、あきふちゅう文化協会の活動を支援していきます。また、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら事業が実施できるよう工夫していきます。
R4	あきふちゅう文化協会の活動者数を増やすため、活動を支援していきます。 また、ふるさと再発見講座への参加者を増やすため、講座内容を充実させます。
R5	目標値が未達成であることを理由に、芸術・文化・歴史活動の推進が停滞していることはありませんが、あきふちゅう文化協会会員数については、協会の活動の活性化につながるような増加策を講じる必要があるものと考えます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	下岡田官衙遺跡保存・整備事業	3,180	6,957	8,012	18,149
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
合計		3,180	6,957	8,012	18,149

1. 基本情報

基本目標	2	学び合い、志を育むまちづくり	担当部	教育委員会
基本施策	2	学び合い生きがいを育む社会教育の充実		
単位施策名称	3	スポーツの振興		
施策の方向性	●スポーツを身近に感じ、スポーツを通じた交流による地域力の向上を図るため、地域のスポーツの取り組みを支援します。 ●健康推進部門との連携による健康増進のためのスポーツの推進や、幼児期からの身体を動かす遊びの充実等によるスポーツ参画人口の拡大を目指します。 ●競技団体やスポーツ団体への支援、指導者の養成等により、競技力の向上を推進します。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	社会体育施設利用者数	人	目標値		399,100	399,325	399,550	399,775	400,000
			実績値	342,546	246,719	449,871	449,079		
			達成状況		未達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	目標は未達成でした。 新型コロナウイルス感染症の影響により利用制限を受け利用者は減少しましたが、感染対策を十分に行い運営しました。
R4	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け施設利用中止等がありましたが、令和4年度は施設利用の中止はなく、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらスポーツ活動が再開されたことにより、練習や大会の利用が増加しました。特に揚倉山健康運動公園の上段多目的広場やテニスコートの利用は多く、目標値を上回ることができました。
R5	目標値に関し、コロナ禍もあり初年度こそ未達成でしたが、それ以降は達成しており、町民のスポーツ熱の高まりを反映しているものと考えます。

・評価及び対応方針

R3	今後も新型コロナウイルス感染症の対策を講じながらスポーツ教室の開催等を実施し、スポーツ参画人口の拡大及び施設の利用促進を図ります。
R4	今後も、適切な維持管理を行い、利用促進に努めます。
R5	町民がスポーツを身近に感じ、スポーツを通じた交流を図ることができるよう、また、生き生きと健康な生活を送るための健康づくりができるよう、環境・気運の醸成を進めます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	揚倉山健康運動公園体育施設運営事業	12,360	16,991	16,026	45,377
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	12,360	16,991	16,026	45,377

1. 基本情報

基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり	担当部	教育委員会
基本施策	3 安心・安全で質の高い教育環境の整備		
単位施策名称	1 教育施設・設備の充実		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●学校・社会教育施設等の計画的な維持管理を行い、施設の長寿命化を図ります。 ●多様な学習活動に対応した教育環境の整備、安心・安全で質の高い学校施設等の施設・設備の充実を図ります。 ●社会の変化に応じた学習機会を提供するため、社会教育施設の充実を図ります。 		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	施策（事務事業総括）進捗率	%	目標値		67.3	72.5	74.8	81.0	100
			実績値	-	67.2	78.7	93.8		
			達成状況		未達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 府中東小学校のエレベータ増築工事は計画どおり完了し目標は達成しました。
府中公民館、歴史民俗資料館及び消防団第1分団詰所の複合化施設の改築工事は計画どおり完了し、目標は達成しました。

R4 計画どおり事業を実施し、目標を達成しました。
令和5年度に実施する解体工事へ向け、旧歴史民俗資料館の解体設計業務委託を行うとともに、府中南公民館の改築に向け、耐震診断を実施しました。

R5 「府中南公民館改築事業」の延伸という実施計画の変更により、総事務事業費が減額となったことが大きく影響し、進捗率が高まり、目標値を達成しています。

・評価及び対応方針

R3 今後も安心・安全で質の高い教育環境の整備を進めます。
今後は、多くの方に快適に利用していただく魅力ある社会教育施設となるよう運営していきます。

R4 今後も引き続き、施設の計画的な維持管理を行い、施設の長寿命化を図ります。

R5 予算化した事務事業は滞りなく執行しました。
「府中南公民館改築事業」については、早期に建設場所を選定しつつ、諸課題への対応を検討します。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	府中公民館等改築事業	1,205,257	14,181	62,370	1,281,808
2	学校施設改修等事業	60,170	0	15,092	75,262
3	学校施設整備事業	0	0	0	
4	府中南公民館改築事業	0	3,504	0	3,504
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	1,265,427	17,685	77,462	1,360,574

1. 基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	危機管理監
基本施策	1	災害に強いまちづくり		
単位施策名称	1	住民と行政が連携した防災の推進		
施策の方向性	●災害への対応能力向上と住民の防災意識の向上を図るとともに、自主防災組織の育成支援を行い、住民と行政が連携した防災の仕組みづくり等を推進します。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	自主防災組織の組織率	%	目標値		95.5	95.5	97.0	98.5	100
			実績値	95.5	95.5	95.5	94.1		
			達成状況		達成	達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3

自主防災組織数は、令和元年度から変動はありません。目標は達成しています。

R4

R5

令和5年度に新設された町内会については、町内会体制が整った後に自主防災組織についても働きかけていくこととしており、令和5年度は未達成となりました。

・評価及び対応方針

R3

自主防災組織を結成した後に活動を行っていない団体について、組織の育成と活動支援が必要となります。職員が直接地域に出向きコミュニケーションを図ることで、平常時及び災害時の活動につなげていきたいと考えています。

R4

R5

自主防災組織を結成した後の活動の維持充実を図るためには組織の育成と活動支援が必要であり、引き続き、職員が直接地域に出向いてコミュニケーションを図り、平常時・災害時の活動につなげていきたいと考えています。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	防災・減災推進事業	3,275	4,167	637	8,079
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	3,275	4,167	637	8,079

1. 基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	危機管理監
基本施策	1	災害に強いまちづくり		
単位施策名称	2	防災体制の充実・強化		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●迅速かつ正確な情報収集・伝達体制の構築を図ります。 ●避難施設の機能強化や備蓄物資の改善・充実を進めます。 ●被災後において、適時適切な住民等の支援に努めます。 			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	避難所敷地内備蓄倉庫整備数（累計）	箇所	目標値		3	5	8	10	10
			実績値	0	3	5	8		
			達成状況		達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 府中北小学校、府中東小学校及び福寿館の3箇所に備蓄倉庫を設置し、目標を達成することができました。

R4 府中中央小学校及び府中中学校の2箇所に備蓄倉庫を設置し、目標を達成することができました。

R5 計画どおり備蓄倉庫を設置し、目標を達成しました。

・評価及び対応方針

R3 備蓄倉庫の設置にあたり、既存の施設（使用していない場所等）を活用し、費用の効率化を図りました。令和7年度の目標である10箇所に向けて、残り7箇所についても施設管理者と調整をとりながら設置を行います。また、備蓄計画に基づき計画的な備蓄を進めます。

R4 避難所運営に必要な物資を確保するため、指定避難所に分散備蓄倉庫を設置しました。令和7年度の目標である10箇所に向けて、残り5箇所についても施設管理者と調整をとりながら設置を行います。また、備蓄計画に基づき計画的な備蓄を進めます。

R5 各指定避難所への分散備蓄倉庫設置を計画どおり進めてきており、令和7年度の目標である10箇所整備に向けて、残り2箇所についても施設管理者と調整をとりながら設置します。また、備蓄についても、備蓄計画に基づき計画的に進めていきます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	防災体制強化事業	12,083	10,954	14,949	37,986
2	老人福祉センター改修等事業	26,870	0	0	26,870
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	38,953	10,954	14,949	64,856

1. 基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	1	災害に強いまちづくり		
単位施策名称	3	市街地の浸水対策		
施策の方向性	●市街地を雨水被害から守るため、浸水対策を推進します。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	浸水被害対象家屋数	戸	目標値		0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0		
			達成状況		達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3

R4 計画どおり事業を進め、施策目標を達成しました。

R5

・評価及び対応方針

R3

R4 引き続き、雨水処理施設等の計画的な長寿命化を図り、浸水被害が起こらないよう維持管理を行います。

R5

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	下水道事業＜雨水＞	370,906	165,772	113,632	650,310
2	農業用水路等改良事業	0	0	34,697	34,697
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	370,906	165,772	148,329	685,007

1. 基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	2	総合的な環境対策の推進		
単位施策名称	1	低炭素型のまちづくりの推進		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●まち全体として温室効果ガスを削減させる低炭素型の社会システムづくりを推進します。 ●二酸化炭素吸収源の一翼を担う森林の適正な管理を行い、自然環境の保全を図ります。 			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	森林の間伐面積	ha	目標値		19.3	20.8	22.3	23.8	25.3
			実績値	17.8	19.2	19.2	23.4		
			達成状況		未達成	未達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 森林の間伐面積は目標に若干達しなかったものの、概ね計画どおり進捗しています。

R4 森林の間伐面積は目標に若干達しなかったものの、令和5年度以降に行う森林整備の特定財源を確保することができました。

R5 令和5年度には特定財源（ひろしまの森づくり事業）を確保し、森林整備4.2haを実施し、施策目標を達成することができました。

・評価及び対応方針

R3 2020年10月、政府はカーボンニュートラルを目指すことを宣言し、2050年までに大きな財政投資が見込まれています。このような国の動向を踏まえつつ、町においても令和4年度に策定予定の環境基本計画に基づき、当施策の更なる取組みの推進および見直し検討が必要と考えます。

R4 令和5年3月13日に宣言を行った「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、今後第2次環境基本計画及び第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく施策を推進していきます。

R5 2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、第2次環境基本計画や第4次地球温暖化対策実行計画【事務時事業編】に基づく取組みを推進します。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	低炭素型社会づくり推進事業	0	698	1,730	2,428
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	0	698	1,730	2,428

1. 基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	2	総合的な環境対策の推進		
単位施策名称	2	自然と共生する快適環境の推進		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●自然とふれあえる場や、緑化の推進を図ります。 ●自然と身近に共生できる環境を確保するため、水辺を保全・活用し、四季を通じた憩いと心の環境づくりを推進します。 ●良好な空気・水・土壌が確保されるよう、関係機関と連携した取り組みを行います。 			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	水分峡森林公園の来園者数	人	目標値		45,000	90,000	100,000	110,000	120,000
			実績値	41,267	46,848	84,097	83,110		
			達成状況		達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 水分峡森林公園の来園者数は、本格的な利用再開を来年度に控える中、多くの方に来園頂き、目標値を達成することができました。

R4 施策目標は達成できませんでしたが、令和4年度より公園利用を全面再開し、賑わいと活力が戻りました

R5 令和5年度の来園者数は目標未達となりましたが、平成30年7月豪雨災害以前の水準まで回復しています。

・評価及び対応方針

R3 水分峡森林公園は、令和4年4月より利用再開としており、引き続き町民の憩いの森として、適切な維持管理に努めるとともに、平成30年3月に策定した再整備基本計画の事業化に向けて、事業手法や財源の確保策の検討およびボランティア団体との協働を推進します。

R4 豊かな自然環境を保全し、次世代へ継承するため、第2次環境基本計画に基づく施策を推進していきます。

R5 平成30年7月豪雨災害以降、森林の荒廃が顕在化しているため、森林整備と適正管理により、森林の再生を図ります。水分峡森林公園は、公園施設の適正管理に努めるとともに、利用者ニーズを踏まえた再整備・リニューアルについて検討を進めます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	府中の森づくり事業	14,505	8,155	13,214	35,874
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	14,505	8,155	13,214	35,874

1. 基本情報

基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	2 総合的な環境対策の推進		
単位施策名称	3 資源循環による環境負荷の低減		
施策の方向性	●ごみを適正に処理するため、分別・収集・処分までの効率的な仕組みづくりを推進します。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	家庭系普通ごみの分別率	%	目標値		76.9	79.1	81.3	83.2	85.3
			実績値	74.4	74.4	63.9	66.1		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2	事業系普通ごみの分別率	%	目標値		63.5	66.5	69.4	72.2	75.3
			実績値	60.3	64.1	57.2	66.6		
			達成状況		達成	未達成	未達成		
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

<p>・分析</p> <p>（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）</p> <p>R3 適正な分別による資源化の推進を図るため、住民に対して広報紙、ホームページ、ごみ分別アプリ等で周知啓発を行いました。雑がみ分別の普及啓発や食品ロス対策などについて、出前講座や環境イベント等による家庭での取り組みにつながりやすい情報発信が行えていません。また、事業者に対しては、平成30年度のリサイクル等のガイドブック配布以降、資源化推進に効果的な取り組みができていません。</p> <p>R4 適正な分別による資源化の推進を図るため、住民に対して広報紙、ホームページ、ごみ分別アプリ等で周知啓発を行いました。雑がみ分別の普及啓発や食品ロス対策などについて、まだまだ情報発信が十分とは言えません。また、事業者に対しては、平成30年度のリサイクル等のガイドブック配布以降、資源化推進に効果的な取り組みができていません。</p> <p>R5 前年度より数値に改善が見られるものの、家庭系・事業系ともに目標未達となりました。ともに厨芥類と紙類の混入が多いため、これらの対策が求められます。</p>	
<p>・評価及び対応方針</p> <p>R3 事業系普通ごみは目標を達成したものの、家庭系、事業系とともに厨芥類及び紙類の割合が高く、手付かず食料品の削減などの食品ロス対策や雑がみ分別の普及啓発をはじめ紙類の適正分別の啓発を継続します。また、調査にあたり家庭系は試料を直接搬入ごみとしたことから、一時多量ごみなど特徴的なごみが含まれたため、今後は試料を収集ごみへ見直すなど調査方法の精度を上げるよう検討します。</p> <p>R4 家庭系普通ごみ、事業系普通ごみともに目標値を達成できませんでした。家庭系、事業系ともに厨芥類と紙類が多いため、厨芥類は家庭における「3きり（水きり、使いきり、食べきり）」と事業者の食品ロス対策の推進に取り組み、資源化できる紙類、特に雑がみは、適正分別の推進のための一層の周知を図り、事業者にはリサイクルルートの確立など資源化の働きかけを行います。なお、調査にあたり家庭系は試料をごみステーションの廃棄物に変更し、実情に即した調査に見直しました。</p> <p>R5 厨芥類は、家庭における3きりと事業者の食品ロス対策の推進に取り組みます。紙類は、家庭における適正分別の一層の周知を図るとともに、事業者にはリサイクルルートの確立など資源化の働きかけを行います。</p>	

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	廃棄物適正処理推進事業	770	3,855	1,759	6,384
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	770	3,855	1,759	6,384

1. 基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	2	総合的な環境対策の推進		
単位施策名称	4	協働型環境づくりの推進		
施策の方向性	●環境に配慮したライフスタイル、ワークスタイルの啓発を行います。 ●誰もが環境に配慮した行動を実践できるシステムづくりを推進します。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	協働連携により取り組む環境づくりの活動数	回	目標値		80	85	90	95	100
			実績値	63	10	66	72		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 コロナ禍の外出自粛等の行動制限の影響により、定期的な活動が行えず目標未達成となりました。

R4 施策目標は達成できませんでしたが、コロナ禍で活動を休止していた団体活動が再開し、コロナ禍前の水準まで回復しました。

R5 令和5年度の施策目標は未達となりましたが、コロナ禍前の水準を上回る活動を実施することができました。

・評価及び対応方針

R3 ここ数年、コロナ禍の外出自粛等の行動制限の影響により、環境ボランティア活動は停滞しています。新型コロナウイルス感染者数の動向を注視しつつ、必要な措置を講じ、順次活動を再開し、住民・事業者・行政との協働・連携体制の再強化を図ります。

R4 多様な主体が連携・協働し、地域一体となって環境まちづくりを推進するため、第2次環境基本計画に基づく施策を推進していきます。

R5 環境活動の活性化には、働く世代の参加や新たな取組みの輪を広げる必要があります。そのためには、ニーズに応じた環境情報の整備や効果的な情報発信を推進します。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	協働型環境づくり事業	702	2,902	5,691	9,295
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	702	2,902	5,691	9,295

1. 基本情報

基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	3 地域協働・産業活性化・安心安全のまちづくり		
単位施策名称	1 人権の尊重と男女共同参画社会の推進		
施策の方向性	●社会全体で差別や偏見をなくすために、人権意識の普及・啓発を行い、住民一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを推進します。 ●男女が互いの人権を尊重し対等なパートナーとして協力し合い、家庭・地域・職場など社会のあらゆる分野で男女がともに自分の意思で参画し、ともに育ち、支え、伝え合える場所をつくることで、男女共同参画社会の実現ができるよう普及・啓発を推進します。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	普及啓発活動参加者数	人	目標値		4,300	4,350	4,400	4,450	4,500
			実績値	4,218	3,886	4,420	5,442		
			達成状況		未達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 新型コロナウイルス感染症の影響により、夏の人権の花運動が児童代表だけの参加となったことや、保育所・認定こども園・幼稚園を対象とした人権紙芝居が中止となった園もあったことから、目標は未達成となっています。内容については、事業のマンネリ化の打開策として、ヒューマンフェスタをスマイル21との合同開催とするなど、新たな取組みを行いました。

R4 新型コロナウイルス感染拡大防止対策で啓発活動が制限される中、工夫を凝らしながら事業を中止することなく行い、目標を達成しました。内容については、新たに、人権啓発冊子のリニューアルや、性的マイノリティへの理解促進の取組みを行いました。

R5 主な増加原因は、ヒューマンフェスタの参加者が200名増えたことと、人権の花運動において、安芸府中高校では、通年は生徒会の生徒数名に渡していましたが、令和5年度は学校行事に合わせて実施したため、参加者数が500人強増加したこと、小学校のあいさつ運動の参加者が80人増えたこと、職員のビデオ研修で参加者の制限を行わなかったため、90人増えたこと等によるものです。

・評価及び対応方針

R3 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の開催が難しい中、オンラインでの開催や動画配信など、様々な工夫をして啓発活動を行いました。今年度以降も、さらに工夫・改善しながら人権の尊重と男女共同参画社会の推進に取り組みます。

R4 新型コロナウイルス感染拡大防止対策に気を付けながら、様々な工夫をして啓発活動を行いました。今年度以降も、さらに工夫・改善しながら人権の尊重と男女共同参画社会の推進に取り組みます。

R5 令和5年度は、学校行事と合わせて実施することで、参加者数を増やすことができたので、今後も参加人数を増やすとともに、事業内容については、毎年同じことを繰り返しているため、内容の充実を図っていく必要があります。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	人権推進事業	4,062	4,321	4,434	12,817
2	男女共同参画推進事業	2,875	195	137	3,207
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	6,937	4,516	4,571	16,024

1. 基本情報

基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	3 地域協働・産業活性化・安心安全のまちづくり		
単位施策名称	2 地域の活性化		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民の交流、活動、コミュニティの場を提供するとともに、住民と行政との連携・協働によるまちづくりを推進します。 ●町内企業の支援を行うとともに、その魅力を積極的に発信していきます。 ●観光資源の有効活用を推進します。 		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	町内会加入率	%	目標値		73.3	73.3	73.3	73.3	73.3
			実績値	73.3	71.0	70.2	68.3		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3

R4

R5

町内会加入促進のため、様々な取組みを事務事業評価における活動実績のとおり行いましたが、目標は達成できませんでした。広報紙の配布やごみ収集など、町内会に加入しなくても行政サービスを受けることができることから、町内会加入にメリットを感じないことが要因と考えられます。

・評価及び対応方針

R3

R4

R5

他市町の事例を参考にしながら、効果的な加入促進を行っていく必要があります。

実施した取組みを振り返るとともに、他市町の事例を参考にしながら、効果的な加入促進の取組みを行っていく必要があります。

他市町の事例も参考にしながら、効果的な加入促進の取組みを行っていく必要があります。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	地域コミュニティ活動支援事業	33,374	34,047	35,657	103,078
2	事業者支援事業	675	2,079	1,542	4,296
3	観光事業	3,874	4,242	3,132	11,248
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	37,923	40,368	40,331	118,622

1. 基本情報

基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	3 地域協働・産業活性化・安心安全のまちづくり		
単位施策名称	3 地域安全活動の推進		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●地域活動団体と連携し、犯罪の起こりにくい環境を形成します。 ●交通弱者の交通安全対策の推進に取り組みます。 ●消費者の安全で安心な消費生活の実現のため、消費者行政を推進します。 		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	人口千人あたりの犯罪件数	件	目標値		5.4以下	5.3以下	5.2以下	5.1以下	5.0以下
			実績値	5.5	5.0	5.0	5.9		
			達成状況		達成	達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3

生活安全指導員や地域団体の青色防犯パトロールカーによる巡回や、特殊詐欺防止啓発活動、防犯カメラの設置などの実施で目標を達成することができました。

R4

R5

町内犯罪件数のうち多くを占めるのは「自転車盗」であり、大型商業施設で被害を受けていると思われます。他の刑法犯罪数では、例年並みですが全体としての目標を達成することができませんでした。

・評価及び対応方針

R3

引き続き関係団体と協働した防犯活動で犯罪抑止を推進していきます。

R4

R5

関係団体と連携した防犯活動を行っていますが、より効果的な取組みを検討及び実施していく必要があります。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	交通安全対策事業	2,667	2,911	2,630	8,208
2	消費者行政推進事業	2,957	3,071	3,138	9,166
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	5,624	5,982	5,768	17,374

1. 基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	消防本部
基本施策	4	暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策名称	1	火災予防体制の充実・強化		
施策の方向性	●地域と連携して火災予防の普及を図り、地域全体の防火力を高めます。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	火災件数	件	目標値		12以下	12以下	11以下	11以下	10以下
			実績値	11	7	3	6.0		
			達成状況		達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 目標は達成しています。コロナ禍で外出の自粛等、自宅で過ごす機会が多くなり、生活様式に一定の変化が現れています。火災予防の普及啓発活動も非接触型の啓発活動を検討します。

R4 目標は達成しています。10月までは火災件数0件でした。コロナ禍で外出の自粛等、自宅で過ごす機会が多くなり、在宅者を中心にした火災予防の普及啓発活動やSNSを使用した啓発活動を行います。

R5 コロナ禍の影響も薄れていますが、在宅者に対する火災予防の普及啓発活動を継続するとともに、コロナ禍前の火災予防の啓発活動を中心に実施した結果、目標を達成できました。

・評価及び対応方針

R3

R4 引き続き、火災予防体制の充実強化を図ります。

R5

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	地域防火体制強化事業	341	366	329	1,036
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	341	366	329	1,036

1. 基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	消防本部
基本施策	4	暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策名称	2	消防体制の充実・強化		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●住民の安心安全なまちを守るために、消防団が地域防火の中核として重要な役割を果たすよう、防災力の充実・強化を図ります。 ●消防施設設備の計画的な整備を図り、消防・防災力の充実・強化を図ります。 			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	消防団訓練活動回数	回	目標値		18	18	18	18	18
			実績値	16	19	18	21		
			達成状況		達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 目標は達成しています。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から訓練の開催方法の見直しを図ります。

R4 目標は達成しています。コロナ禍で感染拡大防止の中、訓練の開催方法を調整して実施しました。

R5 コロナ禍の影響も薄くなり、従前の計画に基づき訓練の実施に努めた結果、目標を達成できました。

・評価及び対応方針

R3

R4 引き続き、消防体制の充実・強化を図ります。

R5

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	消防自動車等購入事業	38,475	0	0	38,475
2	初期消火強化事業	1,040	1,016	855	2,911
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	39,515	1,016	855	41,386

1. 基本情報

基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	消防本部
基本施策	4 暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策名称	3 救急体制の充実・強化		
施策の方向性	●救急出動件数の増加に対応するため、救急体制の再構築を図り、救急隊員の専門的知識の習得や技能を向上させるとともに住民一人ひとりの救急力を高めるなど、救急体制の充実・強化を図ります。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	応急手当講習の参加者数	人	目標値		9,000	9,500	10,000	10,500	11,000
			実績値	8,716	8,909	9,828	10,536		
			達成状況		未達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析	（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等） R3 新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会の開催を見合わせていたため、目標は未達成となりました。 R4 目標は達成しています。コロナ禍で感染拡大防止を図りつつも、講習会の開催を継続的に行った結果といえます。引き続き救急体制の充実・強化を目指します。 R5 ホームページ及び広報誌等を活用し広報したことで、応急手当講習の受講者数は目標達成しています。しかしながら、効率的な受講の推進を図るために普通救命講習会Ⅰを定期開催（月1回）として試行しましたが、当初、想定していた受講者数には達しませんでした。
・評価及び対応方針	R3 応急手当講習の開催方法の見直しを行い、救急体制の充実・強化を図ります。 R4 継続的に応急手当の普及啓発を行い、救急体制の充実・強化を図ります。 R5 令和4年度と比較すると受講者は減少しましたが、町民の要望に対して計画的に講習会を実施し、目標は、達成しています。引き続き、応急手当の普及啓発を行い、救急体制の充実・強化を図ります。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	救急体制強化事業	5,171	6,084	5,437	16,692
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	5,171	6,084	5,437	16,692

1. 基本情報

基本目標	4	便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり	担当部	建設部
基本施策	1	計画的な都市整備の推進		
単位施策名称	1	計画的な土地利用の誘導		
施策の方向性	●計画的な土地利用を誘導することで、人口減少社会においてもまちの活力や生活利便の失われることのない持続可能なまちを次世代へ継承します。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	市街化区域内で都市的土地利用されている土地面積の割合	%	目標値		90.4	90.6	90.8	91.0	91.2
			実績値	90.2	90.7	90.7	90.7		
			達成状況		達成	達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 市街化区域内の農地や山林が、住宅用地に転換され、都市的土地利用されている土地面積の割合が増加しました。

R4 全国的に人口減少が加速し、都市部の空洞化等が社会問題となっていますが、当町では、住宅の建設（新築・建替え）は順調に進んでおり、人口も約5万3千人で維持されています。都市的土地利用されている土地面積の割合は、令和3年度と同数値で推移し、目標を達成しました。

R5 都市的土地利用されている土地面積の割合は、令和3年度以降同数値で推移しているため、令和5年度は目標未達成となりましたが、人口減少が加速化し、都市部の空洞化等が社会問題となっている中、府中町では、住宅の新築・建替えは順調に進んでおり、人口も維持されています。

・評価及び対応方針

R3 近年、市街化区域内においては、マンション建設など土地利用が活性化しており、実績値は目標値を達成しました。引き続き当町の特徴であるコンパクトで密度の高い都市構造を維持・発展させるため、各種事業を着実に進めていきます。

R4 近年、自然災害が多発化するなかで、防災、減災に取り組む国土強靱化地域計画に基づき、大規模盛土造成地の調査を実施し、安心・安全な都市基盤の構築に取り組みました。コンパクトプラスネットワークのまちづくりを計画的に進めるため、立地適正化計画の策定に着手するとともに、公共交通不便地域に対してデマンド型乗合タクシーの試験運行を行い本運行に移行するなど、生活利便性を確保する事業に取り組みました。

R5 近年、集中豪雨や地震など自然災害が多発するなかで、災害リスクの高い区域については都市的土地利用を抑制するため、広島県では、都市計画の区域区分の見直しを進めています。町では、「コンパクト+ネットワーク型の都市」、「安心・安全に暮らせる都市」の実現に向け、府中町立地適正化計画を策定しました。今後も、社会情勢を見据え、計画的な土地利用を誘導し、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを進めます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	都市計画調査事業	3,310	16,996	9,437	29,743
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	3,310	16,996	9,437	29,743

1. 基本情報

基本目標	4	便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり	担当部	建設部
基本施策	1	計画的な都市整備の推進		
単位施策名称	2	都市施設の整備		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●JR向洋駅周辺の幹線道路を整備することで、交通結節機能の強化を図り、拠点地区として新たな活力や賑わいを創出します。 ●幹線道路を補完する生活道路を整備することで、密集市街地の改善や、安全な歩行者空間等を確保し、暮らしやすい都市空間を創出します。 ●子どもが安心して遊べる公園や、超高齢社会に向けた世代間交流が図れる健康的なコミュニケーション空間等の創出を推進します。 ●道路や公共施設等のバリアフリー化を推進し、移動空間等の質の向上を図ります。 			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	都市計画道路の整備率	%	目標値		68.5	68.5	72.1	72.1	72.1
			実績値	68.5	68.5	68.5			
			達成状況		達成	達成	未達成		
2	幅員4m未満の町道延長割合	%	目標値		32.3以下	32.2以下	32.1以下	32.0以下	31.9以下
			実績値	32.5	32.0	31.9	31.6		
			達成状況		達成	達成	達成		
3	公園の面積	ha	目標値		83.8	83.8	84.0	84.0	84.0
			実績値	83.8	83.8	83.8			
			達成状況		達成	達成	未達成		

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 補助街路整備事業や狭あい道路整備等促進事業の着実な進展により、幅員4m未満の町道延長割合の低下が見られます。

R4 補助街路整備事業や道路新設改良事業等の着実な推進により、幅員4m未満の町道延長割合は減少しており、目標を達成しました。
 現在、広島県が施行している都市計画道路青崎池尻線の事業認可区間の整備完了により整備率は上がり、交通結末拠点の向洋駅までの主要アクセス道路、災害時の避難路等として都市的機能が向上します。

R5 ① 都市計画道路の整備率は、広島県施行の都市計画道路青崎池尻線の整備状況により令和5年度の供用開始予定が令和6年度中の整備完了、供用開始予定となったため、目標未達成となりました。
 ② 幅員4m未満の町道延長の割合は、補助街路整備事業や道路新設改良事業の着実な推進により、目標を達成しました。
 ③ 公園の面積については、鶴江ふれあい広場の拡張工事を令和6年度に延伸したため、目標未達成となりました。

・評価及び対応方針

R3 引き続き向洋駅周辺土地区画整理事業や街路事業（青崎池尻線・南小学校青崎東線・大洲橋青崎線）の早期完成に向け尽力します。また、誰もが安心して過ごせる公園の整備とともに、一定の幅員を確保するための道路改良事業を進めます。

R4 通学路や災害時の避難路として道路の安全を確保するため、補助街路整備事業や道路新設改良事業を計画的に進めています。
また、広島県・広島市施行の連続立体交差事業等との連携を図り、向洋駅周辺土地区画整理事業や街路事業等の都市計画事業を円滑に推進し、便利で賑わいにあふれるまちづくりを構築していきます。

R5 町内生活道路の新設・改良を進め、通学路や災害時の避難路として安全性の向上を図るため、補助街路整備事業、道路新設改良事業を計画的に進めています。
向洋駅周辺地区は、広島県・広島市施行の東部地区連続立体交差事業等と連携を図り、土地区画整理事業等都市基盤整備を円滑に推進し、町南部の玄関口として相応しい拠点を形成します。また、誰もが安心して遊べる公園、地域で交流が図れる公園の整備や遊具等のリニューアルを推進し、賑わいに溢れる都市空間を創出します。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	向洋駅周辺土地区画整理事業	243,526	326,429	620,703	1,190,658
2	広島市東部地区連続立体交差事業	32,242	144,343	196,348	372,933
3	県施行街路事業負担金事業	10,795	22,077	10,333	43,205
4	補助街路整備事業	50,728	28,176	57,467	136,371
5	道路新設改良事業	20,419	37,479	52,014	109,912
6	狭あい道路整備等促進事業	6,383	9,186	0	15,569
7	都市公園等整備事業	96,300	490	0	96,790
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	460,393	568,180	936,865	1,965,438

1. 基本情報

基本目標	4	便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり	担当部	建設部
基本施策	1	計画的な都市整備の推進		
単位施策名称	3	住環境の向上		
施策の方向性	●ゆとりある住まいづくり、安心して暮らせる住まいづくり、快適に暮らせる住まいづくりを実感できる住まいづくりを実現するため、住宅施策を推進します。 ●公営住宅を適切に配置することにより、住宅困窮者の住みよい環境づくりを進めます。 ●年齢や地域に格差なく日常生活において誰もが自由に安心して「おでかけ」できる地域公共交通ネットワークを構築します。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	実施計画期間中の新設住宅着工戸数（累計）	戸	目標値		400	800	1,200	1,600	2,000
			実績値	-	239	480	746		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	戸建て住宅の建築は例年程度となっていますが、大規模な分譲マンション建築がなかったことから未達成となりました。
R4	新設住宅着工戸数については、令和3年度と比較して、戸建て住宅の建築は微増となりましたが共同住宅の着工数が減少したため、全体で同程度の着工戸数となり、目標達成とはなりませんでした。
R5	新設住宅着工戸数は、令和4年度と比較して、戸建て住宅の建築は微減、共同住宅の着工数は微増で、全体では25戸増となりましたが、目標値達成とはなりませんでした。各年度の新設住宅着工戸数の目標値を400戸としています。大規模なマンション建設や宅地開発に左右されるため、令和3年度以降は約250戸前後で推移しています。

・評価及び対応方針

R3	全国的に人口減少が進む中、府中町では人口を維持できています。地域の安全性や利便性を高める取組みを続け、更なる住環境の向上に努めていきます。
R4	全国的には人口減少が急激に進む中、府中町では第4次総合計画策定時の平成27年と比較すると人口は約1,000人増加しています。（R4年度末時点：人口52,857人、世帯数23,837世帯）令和4年度は、つばきバスの運行見直しの実証運行を本運行に移行し、料金改定を行いました。また、公共交通不便地域においてデマンド型乗合タクシー（うぐいす号）の本運行を開始するなど、誰もが安心して「おでかけ」できる町地域公共交通ネットワークの構築に努めました。
R5	新設住宅着工戸数は、県全体では令和4年度から約14%減少していますが、府中町は維持・微増しています。住み心地の良い住環境の向上を図るため、つばきバスやデマンドタクシーうぐいす号を運行し、誰もが「おでかけ」しやすい地域公共交通ネットワークを確保します。併せて、安全な住環境を確保するため、広島県と連携し、急傾斜地崩壊対策事業等の防災事業を進め、強靱化を図ります。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	住環境改善事業	1,319	1,805	1,650	4,774
2	急傾斜地崩壊対策事業	29,487	9,001	29,002	67,490
3	コミュニティバス等運行事業	55,556	47,393	45,592	148,541
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	86,362	58,199	76,244	220,805

1. 基本情報

基本目標	4	便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	1	計画的な都市整備の推進		
単位施策名称	4	生活環境の向上		
施策の方向性	●公共下水道を整備促進し、公共用水域の水質保全と快適な生活環境の向上を図ります。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	公共下水道人口普及率	%	目標値		98.7	98.9	99.2	99.3	99.5
			実績値	98.1	98.8	98.9	99.0		
			達成状況		達成	達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3

計画どおり事業を進め、目標を達成しました。

R4

R5

計画通り公共下水道整備を進めていますが、整備箇所の人密度が低いことなどが要因となり公共下水道人口普及率が伸びず、未達成となりました。

・評価及び対応方針

R3

R4

公共水域の水質保全と生活環境の向上を図るため、引き続き事業を継続します。

R5

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	下水道事業<汚水>	280,819	223,290	171,932	676,041
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	280,819	223,290	171,932	676,041

1. 基本情報

基本目標	4	便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり	担当部	建設部
基本施策	2	社会資本の安定的な供給		
単位施策名称	1	インフラ資産の計画的な維持・保全		
施策の方向性	●道路、橋りょう、公園、河川等の計画的な維持・保全、延命化を図ります。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	実施計画期間中の修繕実施橋りょう数（累計）	橋	目標値		3	3	6	8	12
			実績値	-	4	6	9		
			達成状況		達成	達成	達成		
2	実施計画期間中の修繕実施道路延長（累計）	m	目標値		800	1,600	2,400	3,200	4,000
			実績値	-	755	1,482	2,112		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 橋りょう修繕については、目標値よりも1橋多く実施し、長寿命化を図りました。
道路舗装修繕については、現場条件に伴い、想定していたよりも施工費が上がったため修繕延長が伸びず、目標は未達成となりました。

R4 橋りょうの修繕については、定期的な調査を踏まえ、橋梁長寿命化修繕計画を令和3年度に見直した結果、当初計画から3橋修繕を増やし、長寿命化を図りました。
道路の修繕については、道路舗装修繕計画書に基づき舗装の修繕を計画的に進めていますが、社会情勢の変化などが要因となり人件費や材料費が高騰したため、目標値よりも修繕延長が伸びず、未達成となりました。

R5 橋りょうの維持・保全については、国の令和5年度補正予算を活用し、令和6年度計画分を前倒して実施したことから、目標値より3橋多く修繕を行うことができました。
また、道路の維持・保全については、道路舗装修繕計画に基づき、道路舗装の修繕を計画的に進めていますが、人件費や材料費等が高騰したため、修繕工事延長が伸びず、目標未達成となりました。

・評価及び対応方針

R3 各施設の長寿命化計画に基づき、引き続き計画的な長寿命化を図ります。

R4 道路や橋りょう、公園など公共施設の長寿命化を計画的に推進し、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを構築していきます。

R5 道路や橋りょう、公園施設など公共施設の長寿命化を計画的に推進し、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを構築します。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	橋りょう長寿命化事業	40,909	13,231	25,942	80,082
2	道路補修等事業	81,435	89,815	76,684	247,934
3	都市公園等長寿命化事業	15,402	34,231	11,127	60,760
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	137,746	137,277	113,753	388,776

1. 基本情報

基本目標	4	便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり	担当部	財務部
基本施策	3	活力あるまちづくりを支える公共財産の有効活用		
単位施策名称	1	公共施設の適切な財産管理		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設の定期的な点検を実施するとともに、適切な維持・保全を行い、住民サービスの向上を図ります。 ●公共施設の有効な活用方法を研究・検討し、その可能性を探求します。 			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	実施計画期間中の改修実施施設数（累計）	施設	目標値		3	7	10	14	15
			実績値	-	3	6	9		
			達成状況		達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 公共施設の定期的な点検を実施しました。
計画どおり3施設の改修を実施しました。

R4 公共施設の定期的な点検を実施しました。
改修予定施設のうち1施設（府中南小学校留守家庭児童会）について、秋季に行った入札が不調となり、再入札を行ったことから事業を繰越したため、目標は未達成となりました。

R5 公共施設の定期的な点検を実施しました。
改修予定施設のうち1施設（空城山公園管理棟）については、公園全体のリニューアル計画が進行中であり、事業執行を保留しました。

・評価及び対応方針

R3 公共施設等適正管理推進事業債の事業期間が延長されたこともあり、施設の安全確保・長寿命化のため、引き続き計画どおりの事業実施に努めます。

R4 未達成となった1施設について、引き続き着実な事業執行を目指します。

R5 概ね計画どおり進捗しています。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	公共施設維持保全事業	129,171	125,037	176,055	430,263
2	公共施設ネーミングライツ事業	-363	-1,511	-2,849	-4,723
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	128,808	123,526	173,206	425,540

1. 基本情報

基本目標	5 持続可能なまちづくり	担当部	総務企画部
基本施策	1 総合的なまちづくりの推進		
単位施策名称	1 戦略的なまちづくりの推進		
施策の方向性	●長期的なまちづくりの方向性である総合計画に沿ったまちづくりを行うため、目的を明確にし、目標を定め、社会情勢や住民ニーズに対応した適切かつ効果的な施策を推進します。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	全単位施策指標の目標達成率	%	目標値		68.0	76.0	84.0	92.0	100
			実績値	51.5	41.2	46.9	44.0		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、目標値はおろか、前期最終年度（令和2年度）実績値49.6%も下回る結果となり、芳しくない状況です。

R4 昨年度と比べると5.9ポイントの増となりましたが、新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、依然目標値と乖離が生じた結果となりました。

R5 昨年度と比べると2.9ポイントの減となりました。新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、依然目標値と乖離が生じた結果となりました。

・評価及び対応方針

R3

R4 即効性のある改善策を講じることは困難ですが、引き続き「商工住のバランスを保ち、次世代へ元気をつなげるひととまち」という理念に沿った地道なまちづくりを行うことが、最大の打開策であると考えます。

R5

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	総合計画推進事業	562	28	201	791
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	562	28	201	791

1. 基本情報

基本目標	5 持続可能なまちづくり	担当部	総務企画部
基本施策	1 総合的なまちづくりの推進		
単位施策名称	2 自治の体制強化		
施策の方向性	●独自色あるまちづくりを推進し、まちの活性化とブランド力の向上による更なるまちの発展を促すため、自治制度に関する調査・研究を行い、持続的な発展と活性化を目指します。 ●広域的な視点に立った行政サービスの効率的な運営並びに質の向上を図るため、広島広域都市圏域内自治体等との連携を推進します。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	他自治体と新たに 取り組む連携事務 数（累計）	件	目標値		45	47	49	51	53
			実績値	31	46	48	49		
			達成状況		達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3

R4 連携事務累計数は着実に増加しており、広域的な行政サービスを展開できていると考えます。

R5

・評価及び対応方針

R3

R4 誰もが「住んでよかった」「住んでみたい」「これからも住み続けたい」と実感のできる府中町を作り上げるうえで、すべての施策・事業を単独で行うには限界があります。引き続き、広島広域都市圏の連携を進めます。

R5

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	広島広域都市圏推進事業	71	85	108	264
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	71	85	108	264

1. 基本情報

基本目標	5 持続可能なまちづくり	担当部	総務企画部
基本施策	1 総合的なまちづくりの推進		
単位施策名称	3 平和行政の展開		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●慰霊式典や被爆体験記などを通じて、次世代へ被爆の実相を継承します。 ●非核宣言自治体等と連携し、平和に対する住民意識の高揚を図ります。 		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	平和に関する情報発信回数	回	目標値		6	6	6	7	7
			実績値	5	10	10	8		
			達成状況		達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 例年の原爆死没者慰霊式及び平和祈念式典の開催に加え、ロシアのウクライナ侵略に際しては、初めて府中町単独で抗議文を送付するなど、積極的な平和行政を展開する中で、目標値を達成しました。

R4 例年の平和記念式典の開催に加え、ウクライナ支援のための募金箱の設置、アメリカ合衆国の核実験に対する抗議等により、平和に関する情報の発信を積極的に行いました。

R5 平和記念式典の開催にあたり防災無線での放送、広報での情報発信を積極的に行いました。また、実施した内容について、ホームページで発信を行いました。

・評価及び対応方針

R3 広島地方自治体としての責務に応えるため、そしてより一層の住民意識の高揚を図るため、平和に関し引き続き適時適切な情報発信に取り組みます。

R4 非核町宣言自治体として、今後も継続して平和に関する情報の発信を行い、平和に対する住民意識の高揚を図ります。

R5

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
合計		0	0	0	0

1. 基本情報

基本目標	5 持続可能なまちづくり	担当部	総務企画部
基本施策	1 総合的なまちづくりの推進		
単位施策名称	4 まちの魅力発信		
施策の方向性	●まちの魅力を町内外へ発信することで、「住んでよかった」「住んでみたい」「これからも住み続けたい」と実感できるまちとしてのイメージの向上・定着を図ります。 ●時代に即した情報発信を取り入れるなど、さまざまな広報媒体を活用し、利用しやすく分かりやすい情報発信を進めるとともに、意見聴取などを通じて、広聴活動の充実を図ります。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	府中町の認知度 (県内居住者Webアンケート)	%	目標値		63.6	64.4	65.3	66.2	67.0
			実績値	60.6	60.4	63.6	61.7		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 平成30年度の実績値61.8%以降、60.6%、63.2%、そして今回60.4%と軒並60%は超過しているものの、3ポイント程度の間で往来しています。高止まり感もありますが、一方で外部の方の声をダイレクトに反映する指標でもありますので、引き続き注視する必要があります。

R4 平成30年度の実績値61.8%以降、60.6%、63.2%、60.4%、そして今回63.6%と平均して約61.9%となっています。高止まり感もありますが、一方で外部の方の声をダイレクトに反映する指標でもありますので、引き続き注視する必要があります。

R5 平成30年度以降、60%を超える値となっており、今回は61.7%となっています。数値は高止まり感もありますが、広島県内における府中町の認知率が反映された値であるため、引き続き注視していく必要があります。

・評価及び対応方針

R3 引き続き「魅力発信事業」を推進するとともに、後期実施計画を断行することで、相乗的にまちの認知度向上につなげたいと考えます。

R4 各種大型イベントに参加し、まちの魅力を発信するなど、引き続き「魅力発信事業」を推進し、まちの認知度向上につなげていきたいと考えます。

R5 大型イベント等に参加して、直接プロモーションを行ったり、SNSを通じて町の魅力を発信するなど、引き続き「魅力発信事業」を推進し、まちの認知度向上につなげていきたいと考えます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	魅力発信事業	2,341	2,903	2,933	8,177
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	2,341	2,903	2,933	8,177

1. 基本情報

基本目標	5 持続可能なまちづくり	担当部	財務部
基本施策	2 自治を支える安定した行財政運営		
単位施策名称	1 持続可能な行財政運営		
施策の方向性	<p>●町税など収入の安定確保と時代に即した歳出の見直しにより、安定的な財政基盤を構築します。</p> <p>●事務効率の向上を図るとともに、財政健全性を確保しつつ、質の高いサービスを提供する行政の最適化を目指します。</p>		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	財政調整積立基金年度末現在高	億円	目標値		9.7	11.5	10.9	9.9	10.0
			実績値	13.1	14.7	16.2	17.9		
			達成状況		達成	達成	達成		
2	町税の収納率（現年分+滞納繰越分）	%	目標値		98.6	98.6	98.6	98.7	98.7
			実績値	98.6	98.9	99.0	99.0		
			達成状況		達成	達成	達成		
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 厳しい財政状況ではありましたが、臨時財政対策債の追加借入が可能になったこと等により、財政調整積立基金年度末現在高は目標を達成しました。
また、町税収納率についても適正な業務執行により、目標を達成しました。

R4 令和3年度に引き続き令和4年度についても、収支が黒字になったことにより、財政調整積立基金年度末現在高は目標を達成しました。
町税収納率についても、適時適切な催告や丁寧な納税案内相談等の結果、目標を達成しました。

R5 財政調整積立基金年度末現在高について、収支が黒字になったことにより、目標を達成しました。
町税の収納率についても、現年分の滞納が生じた段階で督促、催告を行い、大きな滞納者が生じないよう早期の抑え込みを心掛けたことにより、目標を達成しました。

・評価及び対応方針

R3 令和3年度においては目標を達成することができましたが、厳しい財政状況が続くことから、今後の目標達成は相当の困難が見込まれます。

R4 財政調整積立基金年度末現在高については、予算執行の適正化・歳入の確保等の結果、目標を達成しています。
町税の収納率が目標を上回っていることも、当該達成に貢献していると考えます。

R5 収支が黒字となる年度が続いたこともあり、財政調整積立基金年度末現在高は目標を上回っているものの、潤沢と言える状態ではないため、引き続き財政運営には注意が必要です。
町税の収納率は、目標値が高いにもかかわらず達成となっており、所管課が様々な取組みを努力した結果と考えます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	まちづくり振興基金積立金事業	5,133	10,000	10,000	25,133
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	5,133	10,000	10,000	25,133

1. 基本情報

基本目標	5 持続可能なまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	3 住民に便利な行政サービスの提供		
単位施策名称	1 多様な行政サービスの提供		
施策の方向性	●情報セキュリティに留意しながら、住民が便利で利用しやすい窓口の業務の充実を図ります。 ●南交流センター、つばき館では、地域に身近なサービス提供の場として、利用しやすい窓口と行政情報の提供を図ります。 ●場所や時間を選ばないICTの特性を活用した各種情報や住民サービスを提供し、利便性の向上を図ります。 ●業務システム等を安定的に運用するとともに、ICT資産の最適化を進め、行政事務の一層の効率化を図ります。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	個人番号カード交付率	%	目標値		40.0	50.0	60.0	80.0	100
			実績値	16.4	48.1	74.0	83.0		
			達成状況		達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 平日来庁することが難しい住民の利便性に配慮した夜間・休日窓口の開設や、役場ロビーにおける申請サポートを実施し、個人番号カードの交付促進を図りました。

R4 夜間・休日窓口、出張窓口を設けることで、住民の利便性が向上しマイナンバーカードの交付件数を順調に伸ばすことができました。

R5 マイナポイント事業について、受付を外部委託をするなど人員体制を整備したことにより、順調に実績を上げることができました。

・評価及び対応方針

R3 目標は達成しています。更なる交付促進として出張申請など申請サポートを行う必要があります。

R4 令和5年度以降は交付率の鈍化が予想されるため、更なる利便性向上に取り組めます。

R5 実績の伸びが鈍化してきており、申請や取得のサポートについて拡充を行うとともに、更なる利便性向上に取り組めます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	個人番号カード交付促進事業	27,658	15,393	19,392	62,443
2	新たな業務スタイル推進事業	8,939	2,024	2,024	12,987
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	36,597	17,417	21,416	75,430

1. 基本情報

基本目標	5 持続可能なまちづくり	担当部	総務企画部
基本施策	4 自治を支える人材育成		
単位施策名称	1 職員の総合的な能力開発と新たな働き方の推進		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●職員が自ら考え、住民に対して説明責任を持って、行政サービスを提供できるよう、職員の人材育成を推進します。 ●ポストコロナ時代における職員の新たな働き方を研究・検討し、実施可能な項目から導入します。 		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	職員の研修参加者数	人	目標値		186	192	198	204	210
			実績値	181	113	113	137		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3 コロナ禍であることから、従前と比較し研修の種類・回数が激減しているため、未達成となりました。しかし、オンライン研修は少しずつ増加しており、前年度と比較すると24人の増加です。

R4 前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため研修の開催回数が少なかったことから、目標値未達成となりました。

R5 リモート開催によるが行われるようになり、前年度に比べ研修の参加者数は増加しましたが、業務の都合等により研修へ参加できない場合などがあり、目標を達成することができませんでした。

・評価及び対応方針

R3 職員自らが考え、住民に対して説明責任を持って行政サービスが提供できるよう、引き続き研修への参加を促進するとともに、ポストコロナ時代における職員の新たな働き方の研究・検討に取り組みます。

R4 職員自らが考え、住民に対して説明責任を持って行政サービスが提供できるよう、引き続き研修への参加を促し、人材育成を推進します。

R5 職員自らが考え、住民に対して説明責任を持って行政サービスが提供できるよう、引き続き研修への参加を促し、人材育成を推進します。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	新たな働き方推進事業	0	8,108	19,508	27,616
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	0	8,108	19,508	27,616